

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月25日(水)	試合番号	A11	回戦	準決勝
種別	中学生	会場	サイデン化学アリーナ		

Aチーム			Bチーム		
滝ノ水（愛知）			昭和学院（千葉）		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	10	前半	6	19	
	6	後半	10		
	1	第1延長前半	3		
	3	第1延長後半	0		
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

最初の得点は、滝ノ水センターの11番ミドルシュート。続いて中間速攻から7番カットインで7mTを獲得し、11番が決めて2点目。昭和学院の初得点は4分に7番の7mT。15分を過ぎて昭和学院の右サイドシュートが決まり、4対4同点。前半終盤に、滝ノ水1番GKのノーマークセーブ、11番のミドル・ステップ、7番のカットイン、相手の退場中に右サイド5番のシュートが決まる。10対6、滝ノ水4点リードで前半を終えた。

後半最初に滝ノ水が立て続けに退場者出し、昭和学院は2本の7mTと7番の速攻、カットインの4連取で、7分までに一気に同点に追いつく。その後も勢いそのままに7番のカットインで逆転。滝ノ水も意地を見せ10分、11番のステップシュートで同点に追いつく。15分、昭和学院の5番のポストプレーから7mTを7番が決める、滝ノ水もすかさずポストプレーで返し同点。18分過ぎ、滝ノ水4番サイドシュート、10番のポストシュートで逆転。その後お互いに点を取り合い、残り25秒、昭和学院4番が決めて同点に追いつき延長戦に突入。延長前半、先制は滝ノ水、昭和学院は7番を中心に3連取、GKが7mTも止め、2点差でリード。延長後半、滝ノ水5番の右サイドシュートが2連続で決まる。ラスト滝ノ水が退場者を出すも守り切り、20対19で滝ノ水が勝利した。お互い接戦した勝負で、準決勝にふさわしい試合だった。

記者名

妹尾 真